

VMX100

PRO MIXER



概要

バージョン 1.2 2004 年 7 月

日本語版

www.behringer.com



安全にお使いいただくために



注意： 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

警告： 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。



取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

テクニカルデータや製品の外観は予告なしに変更される場合があります。各社名や出版物、ロゴ等はすべて各所有者の登録商標です。これらの使用は、BEHRINGER® による登録商標の主張も BEHRINGER® と登録商標所有者との提携を意味するものではありません。BEHRINGER® 社は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起した行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター（配給元）およびディーラー（販売業者）は、BEHRINGER の特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER を拘束する権限を一切有しません。本取扱説明書に記載された情報内容は、BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。BEHRINGER® は登録商標です。

ALL RIGHTS RESERVED. © 2004 BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH.
BEHRINGER Spezielle Studiotechnik GmbH
Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38
47877 Willich-Muenchheide II, Germany
Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903

安全にお使いいただくためのより詳細な注意事項

取扱説明書を通してご覧ください。

取扱説明書を大切に保管してください。

警告に従ってください。

指示に従ってください。

本機を水の近くで使用しないでください。

お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。

本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分ご注意ください。

付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。



雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードまたはプラグが損傷した場合、本機内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

注意 - これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。

1. 概要

BEHRINGER PRO MIXER VMX100 は最新のトレンドをものにすることが可能な DJ ミキサーです。その多くの機能は完全に新しくクリエイティブな作業を可能にしてくれます。VMX100 は簡単な操作で、あなたの創造力を現実に変える、プロ用のミキサーです。時代は移り変わる、そして、それに取り残されたくなければアクセルを踏み続けるしかありません。この要求に対応するため、私たちは、最も頻繁に使用される機能とテクノロジーが凝縮された、卓越した DJ ミキサーを開発しました。この装置はダンスクラブや DJ システムの使用に最適であり、純粋な喜びをもたらしてくれることでしょう。

正直なところ、取扱説明書を読むのはあまり楽しい作業であるとは言えないでしょう。すぐにスタートしたい気持ちもよく分かりますが、VMX100 全ての機能を理解し、有効に活用するにはお手数でも説明書を全部読むようにして下さい。

🔊 この説明書では装置の機能を完全に理解するために必要な専門用語が解説されています。必要に応じて再び読むために、説明書は一度読み終わったあとにも大切に保管してください。

1.1 ご使用の前に

VMX100 は安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一、包装段ボールに損傷を発見した場合には装置外部の損傷についても確認を行なって下さい。

🔊 装置が万一故障した場合には、保証請求権が無効となるおそれがありますので当社へ直接返送せず、必ず販売店および運送会社へご連絡下さい。

🔊 装置の保管あるいは出荷時は、装置の破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包を使用してください。

🔊 装置や梱包箱を子供の手の届かない場所に置いて下さい。

🔊 環境を損なわないように梱包材を廃棄してください。

電源アダプターの十分な換気を確保することに注意してください。また、過熱等を防ぐため、装置を暖房器具などのそばに設置しないでください。

ご注意下さい

🔊 過大な音量は聴覚障害やヘッドフォンの故障の原因となる恐れがあることに注意してください。装置に電源を投入する際にはメインセクションの **LEVEL** コントローラーを左端まで回して下さい。また適正な音量には常に注意してください。

2. フロントパネル

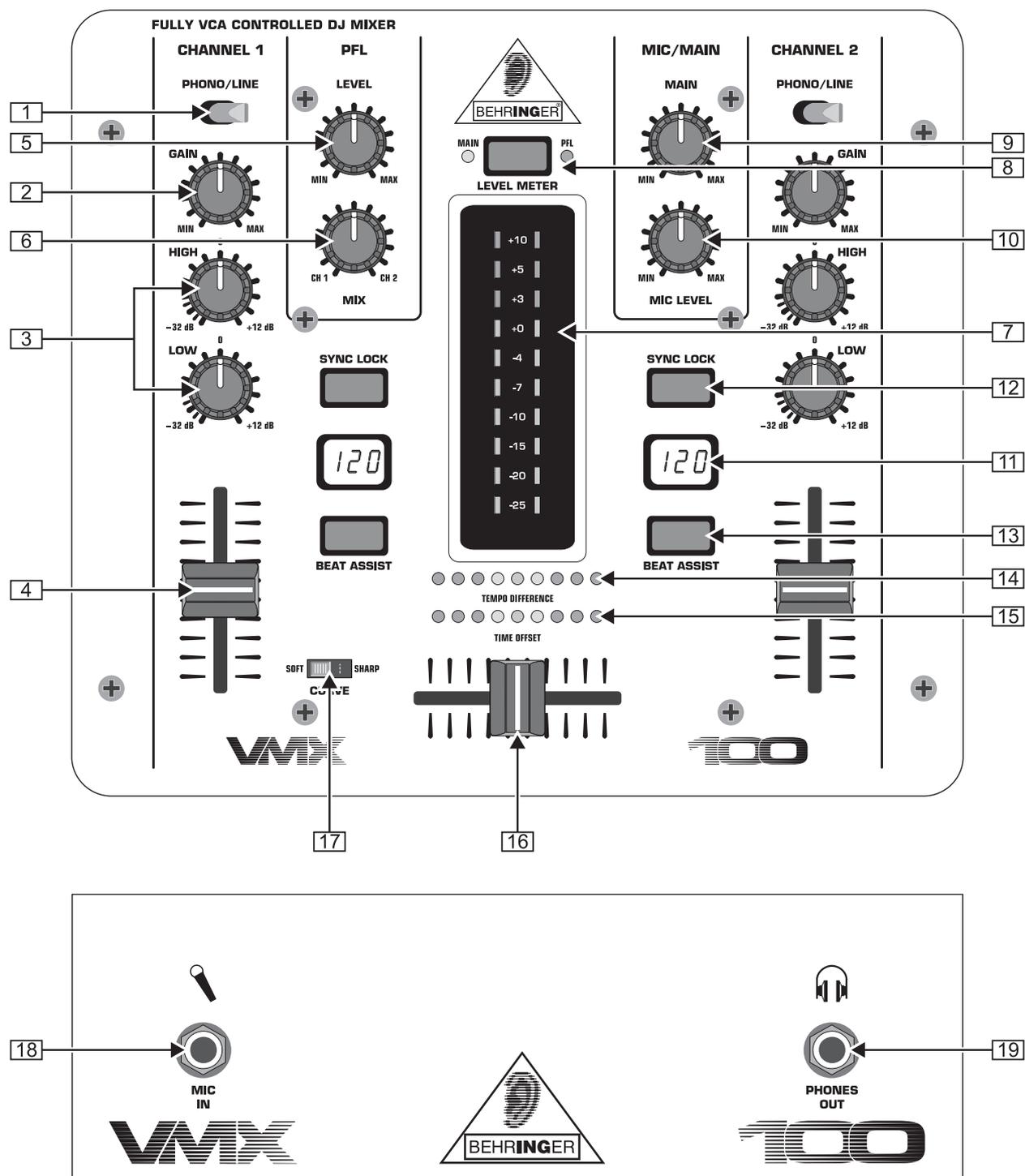


図2.1 : PRO MIXER VMX100 のフロントパネル

2.1 入力チャンネル 1 および 2

- ① PHONO/LINE スイッチは入力感度の設定に使用します。「Phono」はレコードプレーヤーとの接続用です。「Line」はそれ以外の音源 (CD プレーヤーや MD プレーヤーなど) の使用時に利用して下さい。
- ☞ ラインレベルの機器は高感度のフォン入力には絶対に接続しないで下さい。フォンレベルのピックアップシステムの出力はミリボルト単位で計測されるのに対し、CD プレーヤーやテープデッキのレベルはボルト単位を示します。つまり、ライン信号のレベルはフォン入力の 100 倍以上の電圧を有しています。
- ② GAIN コントローラーは入力信号レベルとチャンネル音量の調整に使用します。
- ☞ Gain コントローラーによるレベル調整は EQ 設定によって変化します。レベル調整の前にはまずイコライザーの設定を行なうようにして下さい。
- ③ 各入力チャンネルにはキル特性 (-32 dB から +12 dB) を有する 2 バンドイコライザーがそれぞれ 1 基ずつ装備されています。
- ④ チャンネルフェーダーはチャンネル音量の設定に使用します。

2.2 PFLセクション (Pre Fader Listening / プリフェーダー・リスニング)

PFL 信号はメイン信号に影響を与えずにフェーダー前段で曲のモニターをすることができるヘッドフォン信号です。PFL チャンネルの信号はフェーダーの前段 (Pre Fader) で取り出されます。

- ⑤ LEVEL コントローラーは PFL 信号音量の音量を決定します。
- ⑥ MIX コントローラーを使用するとチャンネル 1 と 2 の音量の割合をコントロールすることができます。
- ⑦ LEVEL メーターは ⑨ で選択された信号のレベルを表示します。
- ⑧ このキーはメイン信号と PFL 信号の切換え選択に使用します。再度確認：「PFL」はヘッドフォン信号、「Main」は VMX100 の出力側から取り出される信号です。
- ☞ PFL モードでは左の LEVEL メーターはチャンネル 1 の信号を、右側はチャンネル 2 の信号を表示します。

2.3 Mic / Main セクション

- ⑨ MAIN コントローラーは出力信号の音量設定に使用します。
- ⑩ MIC LEVEL コントローラーは出力信号内のマイク信号音量の設定に使用します。

2.4 ビートカウンター

PRO MIXER VMX100 のビートカウンターは 2 つのトラック間のスムーズな切換えを行ない、セッションを成功させるために威力を発揮する機能です。このカウンターは選択されているトラックの様々なテンポを BPM (Beats Per Minute : ビート/分) 単位で表示することができます。チャンネル 1 と 2 のビートカウンターセクションは全く同じ物です。

トラックのテンポはそれぞれのチャンネルのディスプレイ ⑪ に表示されます。一つのトラック内でテンポが何度も変化する場合、さまざまな BPM 値がディスプレイに表示され、無用な混乱を招くこととなります。このような場合を想定して各ビートカウンター・セクションには一つの曲の中でテンポ制限値を設定することができる SYNC LOCK キー ⑫ が装備されています。このキーはカウンターがすでに現実的な数値を検出、表示している場合に便利な機能であり、また BEAT ASSIST キー ⑬ を使用したマニュアルでの操作も可能です。このキーを曲の中で最低三回、一定のテンポで叩くと、ディスプレイ上に計測されたテンポが表示されます。BEAT ASSIST キーおよび SYNC LOCK キーにはそれぞれ LED が 1 基ずつ装備されています。

選択されたトラックのテンポ制限値が各チャンネルの SYNC LOCK キーまたは BEAT ASSIST キーですでに設定されている場合、チャンネル 1 と 2 のテンポの差は 9 桁の *TEMPO DIFFERENCE*-LED ディスプレイ [14] に表示されます。このディスプレイはテンポのずれの割合を、右 (チャンネル 1 のテンポの方が遅い場合) または左 (チャンネル 2 のテンポの方が遅い場合) への振れによって示します。中央部の LED が点灯している場合、両チャンネルのテンポは同じです。その下に位置する *TIME OFFSET*-LED ディスプレイ [15] はチャンネル 1 と 2 のシンクロ状態を示します。ディスプレイ中央部の LED が点灯している場合、トラックはシンクロしています。ディスプレイ表示が左または右へ移動している場合、チャンネル 1 またはチャンネル 2 がシンクロしていないことを示しています。TEMPO DIFFERENCE ディスプレイおよび TIME OFFSET ディスプレイは両チャンネルのテンポが上記の様にシンクロした場合にのみ起動します。

SYNC LOCK- または BEAT ASSIST モードへのアクセスを再び解除するには両チャンネルの SYNC LOCK キーをもう一回ずつ余分に押して下さい。

2.5 クロスフェーダーセクション

- [16] クロスフェーダーはチャンネル 1 と 2 のクロスフェードに使用します。
- [17] チャンネルフェーダー下の *CURVE* スイッチを使うとフェーダーのコントロール特性を二段階 (「Soft」及び「Sharp」) に切り換えることができ、これによって出力バス内の音量配分を三段階に切り替えることができます。当然、この場合には音量の差が発生します。このスイッチは曲の途中では使わないようにしましょう。
- [18] *MIC INPUT* 入力はマイク用のバランス型フォンジャックです。
- [19] 安価なプラグをオーディオ信号の伝達に使用することは避けましょう。腐食防止のためにも高品質プラグを使用するようにしましょう。
- [19] ヘッドフォンコネクタは曲のモニターのためのヘッドフォン接続 (PFL 信号) 用です。ヘッドフォンは最低インピーダンス 32 Ohm のものを使用して下さい。

3. 装置後部

マイク及びヘッドフォン端子を除く PRO MIXER VMX100 後部に装備されているコネクタは全て RCA ピンジャック装備となっています。

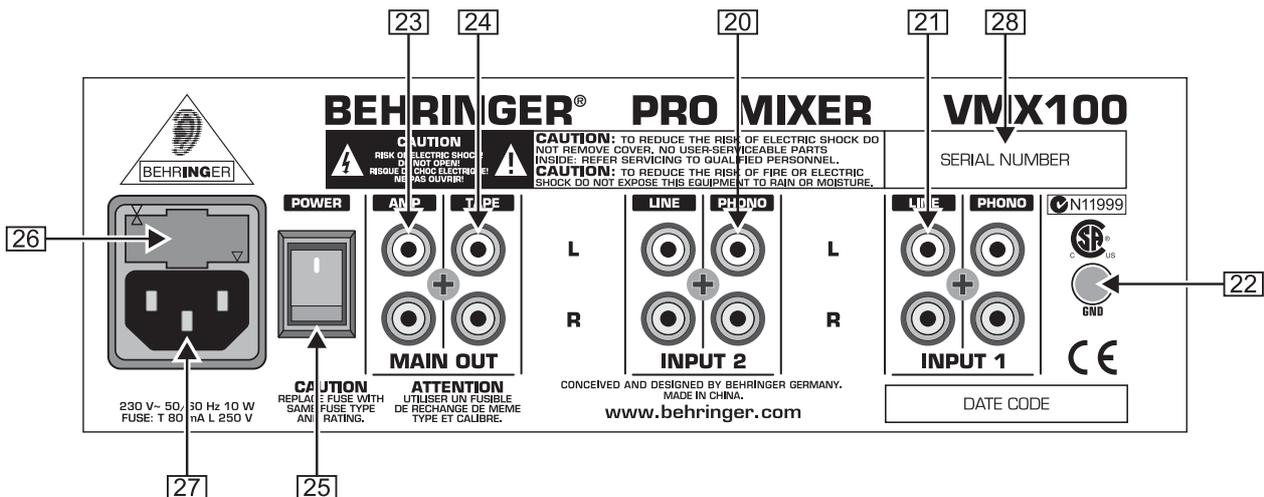


図 3.1: PRO MIXER VMX100 の後部

-
- 20 チャンネル 1 と 2 の *PHONO* 入力はレコードプレーヤーの接続用です。
 - 21 この *LINE* 入力はテープデッキ、CD プレーヤーまたは MD プレーヤーの接続用などに使用されます。
 - 22 *GND* コネクターレコードプレーヤーのグラウンド接続用に使用します。
 - 23 *AMP* 出力はアンプへの接続に使用され、*MIC/MAIN* セクションの *MAIN* コントローラーによって調整されます。
 - 🔊 スピーカーの故障の原因となり易い、電源投入時の過電流の発生を防ぐため、パワーアンプの電源は必ず最後に入れるようにして下さい。パワーアンプに電源を投入する際には突然の大音響の発生を防ぐためにも **VMX100** に、信号が入力されていないことを確認して下さい。これには、事前に全てのフェーダーを下げ、また、回転式コントローラーを全て零位置にセットすることをお奨めします。
 - 24 *TAPE* 出力は、テープデッキや、*DAT* レコーダーなどに接続することによって曲の編集に利用することができます。*AMP* 出力とは異なり、出力音量は固定音量となっているため、録音機材側で入力レベルの調節を行なう必要があります。
 - 25 *POWER ON* スイッチで *PRO MIXER* を起動します。
 - 26 **ヒューズホルダー／電圧切換**：装置を電源に接続する前に、電圧の表示が供給電圧と同じであることを確認して下さい。ヒューズの交換に際しては必ず同じタイプの物を使用するようにして下さい。いくつかのタイプでは、240 V と 120 V の使用電圧の切換えのために、ヒューズホルダーが 2 つの異なるポジションで差込めるようになっています。語注意下さい：ヨーロッパ以外の地域で、装置を 120 V の電圧で使用する場合には大き目の安全値を使用するようにして下さい。
 - 27 これは電源ケーブル用のコネクターです。
 - 28 シリアルナンバー

4. テクニカルデータ

オーディオ入力

Mic入力	ゲイン 53 dB、電子バランス入力
Phono 入力 1 および 2	ゲイン 40 dB @ 1 kHz、アンバランス型入力
ライン入力 1 および 2	ゲイン 0 dB、アンバランス型入力

オーディオ出力

メイン出力	max. +21 dBu @ +15 dBu (Line In)
テープ出力	typ. 0 dBu
ヘッドフォンコネクター	typ. 125mW @ 1 % THD

イコライザー

ステレオ Low	+12 dB / -32 dB @ 50 Hz
ステレオ High	+12 dB / -32 dB @ 10 kHz

一般要綱

S/N 比	> 88 dB (Line)
クロストーク	> 67 dB (Line)
歪み率 (THD)	< 0.025 %
周波数帯域	20 Hz - 20 kHz
ゲイン調整範囲	-20 dB - +9 dB

電源供給

供給電圧	米国/カナダ	120 V~, 60 Hz、
	ヨーロッパ/英国/オーストラリア	230 V~, 50 Hz、
	日本	100 V~, 50 - 60 Hz
	一般輸出用モデル	120/230 V~, 50 - 60 Hz
消費電力	10 W	
ヒューズ	100 - 120 V~: T 160 mA H	
	200 - 240 V~: T 80 mA L	
電源アダプター	標準IECコネクター	

外径寸法/重量

寸法 (高さ×幅×奥行き)	約 2 7/8" (72 mm) × 8" (203 mm) × 9" (229 mm)
重量	約 2.0 kg

BEHRINGER 社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する可能性があります。